



小山台

学校だより
12月号
令和4年11月30日
横浜市立小山台小学校

これからも励み続ける

校長 椎名 哲也

仕事帰りに街中を歩いていましたら、オルガンの音が聞こえてきました。そこにはステージが設けられていて、たくさんの方が集まっていた。よく見てみると、オルガンではなくてアコーディオン。学校で見かけるものよりも二回りほど大きく見えたのですが、奏者はそれを自由自在に扱い、ブルブル震えさせながら演奏していました。偶然、通りかかった私の心も震えさせられました。演奏が終わった後に演奏者が語ったのは、若いころからアコーディオンが好きだったこと、そして、もっと極めて自分の道を自分で切り拓きたいと考えて留学して学び続けたということでした。11月5日に開催された「栄区民まつり」で児童生徒のスポーツ・文化活動表彰がありました。ピアノ、水泳、バレーボール、バスケットボール、野球、書道やそろばん…。多くの候補者の中から今回表彰された“今の自分をさらに高めて励み続ける児童生徒”は、アコーディオン奏者と同じように、既に心の中に何かが芽吹いているのかもしれませんが、自分の力で課題に立ち向かっていく力強さを一人ひとりに感じました。



私は小山台小の子どもたちにも心を揺さ振られたことが何度もあります。3年前はまだまだ正門前の横断歩道で元気に挨拶をしてくれる人は半分ぐらいでしたが、今ではかなり多くの子どもたちから元気な声が聞こえるようになりました。廊下や階段の掲示板に貼られた挨拶運動のポスター。今までみんなで大切に続けてきた成果が、しっかり形となって表れているのだと思います。小山台小の児童が卒業していったこと、そして、小山台小の児童が挨拶に励み続けていることを見てなのだと思いますが、隣の中学校の生徒たちも挨拶をしてくれる人が増え、児童の取組がさらに地域に広がっている様子を感じ、心が揺さぶられました。励み続ける皆さんの姿は、輝いて見えます。

今年度も、あと4ヶ月となりました。既に自分の中に極めていきたいものをもっている人も居るのかもしれませんが、大切なことは、どんなことにも諦めずに粘り強く励むことです。みんなが持っている素敵な面を表に出して、これからも前進していきましょう。皆さんがこれからも励み続ける姿を見守ります。



子どもたちの学校生活の様子については、小山台小学校のホームページ「学校日記」に随時掲載しています。ぜひご覧ください。

